

DPC 点数早見表 2016 年 4 月版

(2016 年 4 月 25 日第 12 版第 1 刷)

追補・正誤表

2016 年 7 月 1 日 医学通信社

1. 疑義解釈 (事務連絡) (2016 年 4 月 25 日付事務連絡)

問 診断群分類区分の決定が請求時から患者の退院時に変更となったが、月をまたいで入院する場合は、各月の請求時に一旦、診断群分類区分の決定を行い請求することによいか。

答 そのとおり。

なお、手術等が行われていない場合であっても、予定がある場合には手術あり等の診断群分類区分を選択し請求しても差し支えないが、退院時までには予定された手術が行われなかった結果、退院時に決定された請求方法が異なる場合は、請求済みのレセプトを取り下げた上で手術なしの分岐により再請求をする。

2. 追加告示・通知 (告示 210・告示 211・通知 0419・3, 通知 0419・4 / 2016 年 4 月 19 日) (告示 230・告示 231・通知 0524・2, 通知 0524・3 / 2016 年 5 月 24 日)

■ p.428 表・右段「2」の項に以下を追加する (2016 年 5 月 25 日から適用)

2	リツキシマブ (遺伝子組換え) [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 28 年 2 月 29 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限り) に係るものに限る]	全ての番号
---	---	-------

■ p.429 表・右段「21」の項に以下を追加する (2016 年 5 月 25 日から適用)

21	レベチラセタム [当該薬剤 (注射薬に限る) の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 28 年 2 月 29 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限り) に係るものに限る]	1767, 1768 及び 1773
----	---	--------------------

■ p.429 表・右段「25」について下線部を追加する (2016 年 5 月 25 日から適用)

25	ニボルマブ (遺伝子組換え) [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 27 年 12 月 17 日及び平成 28 年 2 月 29 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限り) に係るものに限る]	1956 から 1958 まで、 1967, 1968, 1977, 1978, 3163 及び 3166
----	---	---

■ p.429 表・右段「26」の次に以下を追加する (2016 年 4 月 20 日から適用)

27	ラパチニブトシル酸塩水和物 [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 27 年 11 月 20 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限り) に係るものに限る]	3221 から 3223, 3231 から 3233, 3241, 3242, 3245 及び 3248
28	アピキサバン [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 27 年 12 月 21 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限り) に係るものに限る]	2458
29	インフリキシマブ (遺伝子組換え) [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 27 年 12 月 21 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限り) に係るものに限る]	4042, 4044, 4045 及び 4047
30	ベキサロテン [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 28 年 1 月 22 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 1 項の規定により承認されたものに限り) に係るものに限る]	3816, 3817 及び 3829
31	エリブリンメシル酸塩 [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 28 年 2 月 29 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限り) に係るものに限る]	1862, 1863, 1869, 1870, 1877, 1878, 1882, 1883, 3000, 3004, 3007 及び 3008
32	ビガトリン [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 28 年 3 月 28 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 1 項の規定により承認されたものに限り) に係るものに限る]	1767 及び 1773
33	イブルチニブ [当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成 28 年 3 月 28 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 1 項の規定により承認されたものに限り) に係るものに限る]	3816 から 3818 まで、 3820, 3829 及び 3830

34	セリチニブ〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成28年3月28日に、医薬品医療機器等法第14条第1項の規定により承認されたものに限る）に係るものに限る〕	1961及び1981
35	オシメルチニブメシル酸塩〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成28年3月28日に、医薬品医療機器等法第14条第1項の規定により承認されたものに限る）に係るものに限る〕	1956から1958まで、1967、1968、1977及び1978
36	ダブラフェニブメシル酸塩〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成28年3月28日に、医薬品医療機器等法第14条第1項の規定により承認されたものに限る）に係るものに限る〕	1862、1863、1869、1870、1877、1878、1882、1883、2492から2495まで、2500から2502まで、2507から2509まで、2512、2613から2615まで、2626、2627、2635、2636、2652、2657、3162、3165、3168、3493、3706、3710及び3711
37	トラメチニブ ジメチルスルホキンド付加物〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成28年3月28日に、医薬品医療機器等法第14条第1項の規定により承認されたものに限る）に係るものに限る〕	1862、1863、1869、1870、1877、1878、1882、1883、2492から2495まで、2500から2502まで、2507から2509まで、2512、2613から2615まで、2626、2627、2635、2636、2652、2657、3162、3165、3168、3493、3706、3710及び3711
38	セベリパーゼ アルファ（遺伝子組換え）〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成28年3月28日に、医薬品医療機器等法第14条第1項の規定により承認されたものに限る）に係るものに限る〕	3465から3470まで
39	塩化ラジウム（ ²²³ Ra）〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成28年3月28日に、医薬品医療機器等法第14条第1項の規定により承認されたものに限る）に係るものに限る〕	3536から3542まで及び3544から3558まで

■ p.431 表中「2」「21」「25」の項に以下（黄緑色部分）を追加する

2	リツキシマブ（遺伝子組換え）	リツキサン注 10mg/mL (100mg/10mL) リツキサン注 10mg/mL (500mg/50mL)	下記の ABO 血液型不適合移植における抗体関連型拒絶反応の抑制 腎移植、肝移植	(特定できない)
21	レベチラセタム	イーケプラ点滴静注 500mg	他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法	G403
25	ニボルマブ（遺伝子組換え）	オブジーボ点滴静注 20mg オブジーボ点滴静注 100mg	根治切除不能な悪性黒色腫	C069、C159、C20、C210、C43\$, C519、C52、C609、C693、C694

■ p.431 表「26」の次に以下を追加する

27	ラパチニブトシル酸塩水和物	タイケルブ錠 250mg	HER2 過剰発現が確認された手術不能又は再発乳癌	C50\$
28	アピキサバン	エリキュース錠 2.5mg エリキュース錠 5mg	静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制	I802
29	インフリキシマブ（遺伝子組換え）	レミケード点滴静注用 100	川崎病の急性期	M303
30	ベキサロテン	タルグレチンカプセル 75mg	皮膚 T 細胞性リンパ腫	C84\$
31	エリブリンメシル酸塩	ハラヴェン静注 1mg	悪性軟部腫瘍	C49\$
32	ピガバトリン	サブリン散分包 500mg	點頭てんかん	G404
33	イブルチニブ	イムブルピカカプセル 140mg	再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）	C830、C911

34	セリチニブ	ジカディアカプセル 150mg	クリゾチニブに抵抗性又は不耐容のALK 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	C34\$
35	オシメルチニブメシル酸塩	タグリッソ錠 40mg タグリッソ錠 80mg	EGFR チロシンキナーゼ阻害薬に抵抗性のEGFR T790M 変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌	C34\$
36	ダブラフェニブメシル酸塩	タフィンラーカプセル 50mg タフィンラーカプセル 75mg	BRAF 遺伝子変異を有する根治切除不能な悪性黒色腫	C069, C159, C20, C210, C43\$, C519, C52, C609, C693, C694
37	トラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物	メキニスト錠 0.5mg メキニスト錠 2mg	BRAF 遺伝子変異を有する根治切除不能な悪性黒色腫	C069, C159, C20, C210, C43\$, C519, C52, C609, C693, C694
38	セベリパーゼ アルファ (遺伝子組換え)	カスマ点滴静注液 20mg	ライソゾーム酸性リパーゼ欠損症 (コレステロールエステル蓄積症, ウォルマン病)	E755
39	塩化ラジウム (²²³ Ra)	ゾーフィゴ静注	骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌	C61

ページ・行	誤	正
-------	---	---

■ 040040 肺の悪性腫瘍 (手術・処置等2)

p.112 右段「手術・処置等2」	⑦ クリゾチニブ アレクチニブ塩酸塩	⑦ クリゾチニブ アレクチニブ塩酸塩 セリチニブ
-------------------	-----------------------	--------------------------------

■ 040100 喘息 (手術・処置等2)

p.119 右段「手術・処置等2」	② オマリズマブ	② オマリズマブ メボリズマブ
-------------------	----------	--------------------

■ 04026X 肺高血圧性疾患 (手術・処置等2)

p.127 右段「手術・処置等2」	③ マシテンタン アンブリセタン リオシグアト ボセンタン水和物 トレプロスチニル ④ プロスタグランジン I ₂ 製剤 (注射薬に限る)	③ マシテンタン アンブリセタン リオシグアト ボセンタン水和物 ④ プロスタグランジン I ₂ 製剤 (注射薬に限る) トレプロスチニル イロプロスト
-------------------	---	---

■ 130050 慢性白血病, 骨髄増殖性疾患 (手術・処置等2)

p.310 右段「手術・処置等2」	③ アレムツズマブ オフアツムマブ	⑤ アレムツズマブ オフアツムマブ イブルチニブ
-------------------	----------------------	--------------------------------

3. 正誤

ページ・行	誤	正
-------	---	---

■ 010060 脳梗塞 (定義副傷病)

p.69 右段1～10行目	010200 水頭症 010230 てんかん 040080 肺炎等 040081 誤嚥性肺炎 040151 呼吸器のアスペルギルス症 050070 頻脈性不整脈 110310 腎臓または尿路の感染症 150120 脳性麻痺 180010 敗血症 180035 その他の真菌感染症	① 010200 水頭症 010230 てんかん 050070 頻脈性不整脈 150120 脳性麻痺 ② 040080 肺炎等 040081 誤嚥性肺炎 110310 腎臓または尿路の感染症 180010 敗血症 180035 その他の真菌感染症 040151 呼吸器のアスペルギルス症
---------------	--	--

■ 050170 閉塞性動脈疾患（手術・処置等2）

p.144 右段下から2行目	H000\$ 心大血管リハビリテーション料	削除
----------------	-----------------------	----

■ 060100 小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む）（手術・処置等1）

p.167 右段15行目	K721\$ 内視鏡的結腸ポリープ～	K721\$ 内視鏡的 大腸 ポリープ～
--------------	--------------------	-----------------------------

■ 060180 クロウン病等／060185 潰瘍性大腸炎（手術・処置等1）

p.174 右段2行目	カプセル型内視鏡	削除
p.175 右段1行目		

■ 180040 手術・処置等の合併症（手術）

p.377 右段18行目	K6146	K6147
--------------	-------	-------

4. ご案内

- 本書の第2章「診断群分類樹形図と点数早見表」中、「定義副傷病」について、「手術あり」または「手術なし」「手術あり・なし共通」といった見出しがなく表記されている傷病名は、データには出現していますが、現在は分岐項目となっていないものです。
- 厚労省より「DPC 制度への参加等の手続きについて」が発出されました。本書 p.456～464 が該当します。弊社 HP「書籍の追補・増補・正誤」のページにて PDF をご覧いただけます。
- 厚労省より「DPC/PDPS 傷病名コーディングテキスト」が発出されました。当該資料中、「注意すべきコーディングの事例集」は、本書 p.385～410 が該当します。弊社 HP「書籍の追補・増補・正誤」のページにて PDF をご覧いただけます。



—以上につき訂正・追加いたします。